

## 令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎

専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21

学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「2019年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

### 1. 令和元年度 学校関係者評価委員会

#### <委員> (五十音順)

青山 文彦氏 立志舎高等学校 教頭  
 浅野 拓哉氏 株式会社ニチイ学館 お茶の水支店 病院課 課長  
 富永 高広氏 株式会社日本旅行 東京教育旅行営業部 副部長  
 西山茉莉奈氏 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 店長  
 平澤 精一氏 有限会社井荻スポーツ社 代表取締役  
 藤代 真弘氏 東海旅客鉄道株式会社 新幹線鉄道事業本部 東京第二運輸所 指導車掌  
 松戸 圭子氏 一般社団法人日本植物ケアデザイナー協会 代表  
 丸茂 茜氏 ヒロセ電機株式会社 製作本部長室

#### <事務局>

吉野 充利 専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21 校長  
 桐原 彰久 専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21 教務部課長  
 井原 晋 専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21 教務部課長  
 入江 博雅 専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21 教務部課長

### 2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p><b>イ. 教育理念、目的、育成人材像について定められているか</b></p> <p>学校の目標は、「学校教育法に基づき人格の陶冶と、ビジネス、鉄道、トラベル、ホテル、スポーツ、医療・福祉および一般教養に関する正しい知識を身につけ日本経済の発展に貢献できる人材の育成を目的とする」としている。また、学園の基本目標を『学生から信頼され支持される学校づくり』として、教職員一丸となって取り組んでいる。</p>

	<p><b>ロ . 学校における職業教育の特色は何か</b>  教育の特色は、本学独自の教育システムの「ゼミ学習」である。この学習システムにより合格実績、就職実績、人格陶冶を達成している。</p> <p><b>ハ . 教育理念、目的、育人人材、特色が学生や保護者などに周知されているか</b>  入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明しており学生、保護者等に周知しているが完全とは言えないため今後も継続して学生・保護者等に周知していく。</p> <p><b>二 . 各学科の教育目標、育人人材像は業界ニーズに向けられているか</b>  育人人材像が業界にニーズに向けて方向づけられるように、毎年開催する学内就職セミナー(令和元年度 1872 社の企業が参加) や教育課程編成委員会を通して業界のニーズ把握をし、ゼミ学習を通じて日々学生を指導している。</p> <p>基準 1 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 最近の新入社員に多く見られることは挨拶や基本的なビジネスマナーができていないことです。しかし貴校の卒業生に関してはそういった基本的なところができているので、今後も継続して人間性の教育をしていただきたい。</p> <p>(2) 高校まではクラスが30～40人に対し、先生は一人で、なかなか生徒の目が行き届かないところがあったが、貴校に関しては先生が学生一人ひとり丁寧にみていただいたという印象を持っている。</p>
<p>基準 2 学校運営</p>	<p><b>イ . 目的に沿った運営方針が策定されているか</b>  各学科の目的等を達成するために「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標とし全教職員に周知徹底している。各部署には目標達成のために数値目標が明確にされており、その目標達成のために授業を組織的に運営している。</p> <p><b>ロ . 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化され機能しているか</b>  運営組織や意思決定機能は規則等において明確にしており、理事会、学園協議会といった意思決定システムが整備され、その役割と権限を明確にしている。</p> <p><b>ハ . 人事制度や組織整備がなされているか</b>  人事や賃金の処遇に関する制度として、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度を整備している。</p> <p><b>二 . 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</b>  日常的な意思決定は管理職が行っている。学校間の調整は企画本部や学園協議会で決定している。また、責任者会議、課会議、公務員企画会議といった意思決定システムが整備され、その役割と権限を明確にしている。</p>

	<p><b>ホ．教育活動に関する情報公開が適切になされているか</b></p> <p>資格取得実績や就職実績をホームページで公開し、速報を作成してオープンキャンパス等で入学希望者に配布している。さらに本人了承のもと氏名や出身高校を記載した合格速報なども配布しており、入学者へのアンケートを見ると、志望者や保護者が判断する際にも役立っている。</p> <p><b>ヘ．情報システム化などによる業務の効率化が図られているか</b></p> <p>情報システムについては、学務システムと経理システムを個々に運用しており、就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワークを全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 様々な実績などから日々の授業や資格取得、就職に対する指導など、先生方が学生一人一人に親身になって接していただいていると察します。この点からも学生から信頼されていると思います。</p> <p>(2) 弊社でも情報システムに関してはセキュリティの強化など細心の注意を払っている。社内において監査が年2回あり、個人情報保護に関してもパスワードコピーは旅行が終了したらシュレッダーしたり、エクセルの顧客データもパスワードを設定したりしている。貴校の情報システムは適正だと思いますので引き続きしっかり運用していただきたい。</p> <p>(3) 貴校のホームページや冊子に就職の実績等掲載されているが、視覚的にも分かりやすいものでした。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p><b>イ．教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</b></p> <p>教育理念等に沿った、各学科の目的を達成するために、カリキュラムは、年2回実施される教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。</p> <p><b>ロ．教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</b></p> <p>各学科の目標を明確にし、講義だけではなくゼミ学習で各学生の理解度を深め、答案練習会や確認テストにより理解度を把握しています。学習時間は各学科2年間の規定時間である1720時間を超える授業時間を確保している。</p> <p><b>ハ．学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか</b></p> <p>学科等のカリキュラムは教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するように編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。</p>

**ニ．キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか**

専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するため、該当する授業科目を設置し、企業の人事担当者による官公庁説明会および学内就職セミナーも実施している。

**ホ．関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか**

スポーツ、トラベル、ビジネスともに毎年定期的に郊外実習やインターンシップなど取り入れ学生の技術能力の向上のために計画的に行っている。

**ヘ．授業評価の実施・評価体制はあるか**

授業運営の適否を判断、見直しをするために学生による授業評価アンケートを実施している。また年 2 回、他校教員による各校見学会を実施し、相互に評価している。

**ト．成績評価・単位認定の基準は明確になっているか**

成績評価・単位認定の基準を明確に定め、学則、専門課程便覧、HP で学生にも周知徹底し、厳正に行っている。今年度より G P A を算出し学生の成績をより明確に把握している。

**チ．資格取得の指導體制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか**

各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。各学科で各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成においても目標達成のため科目の適正な配置を行っている。

**リ．人材育成目標に向け、授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか**

育成目標の向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。

**ヌ．教員の能力開発のための研修などが行われているか**

教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。

基準 3 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。

- (1) 鉄道・トラベル学科における端末研修は学生がリアルなものを体験することができる。今後のキャリア教育にもつながる。先生方も学生のことを考え、実際の現場での知識を吸収しようという姿勢があります。また、常に謙虚で

	<p>いる姿勢が感じられ、評価は妥当であると考える。</p> <p>(2) 教員研修について高校の研修では各科目ごとに特化しているものが多いが、貴校の先生方は専門知識だけでなく、高い視点を持って研修に取り組んでおり、学生に何を伝え、何を学ばせるのかということを考えているのはよい。</p> <p>(3) 最近のインターン学生に見られるのが、遠慮からくるものなのか、自分から能動的に動く学生は少ない。貴校の学生は受動的でなく、能動的に動くという印象があり、本当にすばらしいと感じている。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p><b>イ．就職率の向上が図られているか</b> 各学科より就職実績の報告にあるように、就職率の向上が図られている。</p> <p><b>ロ．資格取得率の向上が図られているか</b> 各学科より資格取得実績の報告にあるように、就職率の向上が図られている。</p> <p><b>ハ．退学率の遞減が図られているか</b> 退学率の低減については、一人も退学者を出すことなく入学者全員を卒業させることが最終目標であるため、担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っており、欠席した学生には担任が電話することで長期の欠席ならないようにしている。また、学生相談室を設置しており、担任以外にも相談できるようにしている。しかし日本鉄道&amp;スポーツビジネスカレッジにおいては、前年度より退学者が増えてしまった。</p> <p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) スポーツ学科について素晴らしい実績を出せているのは、好きなスポーツを楽しみながら勉強も頑張っているからではないか。</p> <p>(2) 医療福祉ビジネス学科について、医療福祉業界内定率 100%はとても素晴らしい。引き続き頑張ってください。</p> <p>(3) 鉄道・トラベル学科については、就職実績が大変すばらしいのは先生方の熱意と本学独自のゼミ学習という勉強方法にあると思います。</p> <p>(4) ビジネス学科については、毎年高い実績を出してり、楽しみながら学べて、自分の希望の就職を達成している。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p><b>イ．進路・就職に関する支援体制は整備されているか</b> 就職希望者には、就職相談室を設け、就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。</p> <p><b>ロ．学生相談に関する体制は整備されているか</b> 学生の相談はまずクラス担任にするが、その他にも学生相談室を設置し相</p>

	<p>談できる体制をとっている。</p> <p><b>ハ．学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</b></p> <p>支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度、スポーツ実技特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度を設けており、奨学金はすべて貸与ではなく給付としている。また今年スタートした高等教育無償化の修学支援対象校として文部科学省より認定された。</p> <p><b>ニ．学生の健康を担う管理体制はあるか</b></p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p><b>ホ．課外活動に対する支援体制は整備されているか</b></p> <p>課外活動として野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部などのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などを学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている</p> <p><b>ヘ．学生の生活環境への支援は行われているか</b></p> <p>遠隔地出身者のために提携している学生寮を紹介し、安心して学生生活を送れるよう支援をしている。</p> <p><b>ト．保護者と適切に連携しているか</b></p> <p>保護者には、学生に対して適切な指導、相談を行うために出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回送付している。また、必要に応じて保護者への電話連絡や面談をしている。</p> <p><b>チ．高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか</b></p> <p>高校等との連携は無料で高校生の民間就職支援、鉄道セミナー等を通じ、資格取得、就職内定を目指す生徒を応援しているが、今後もさらに連携していく必要があると思う。</p> <p>この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) スポーツの実技特待試験はとてもいい制度だと思います。経済的側面で学びたくても進学できない生徒に対し、学びの機会を与えることができます。</p> <p>(2) 貴校に在学中、テニス部に所属していました。高校までの部活動は毎日だが、本学では週2回のクラブ活動で体を動かし続けることができ、好きな競技を継続でき、よかった。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p><b>イ．施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</b></p> <p>設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っているため、施設・設備は学生に教</p>

	<p>育上支障がないように整備されている。</p> <p><b>ロ . 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</b></p> <p>実習施設についてはトレーニングルームをはじめとした各学科独自の実習室や墨田区総合体育館等の施設を確保している。海外研修についてはグアムスポーツ研修、海外添乗実習などを実施している。また、インターンシップについても各学科独自の連携企業との連携により、学科の特徴にあった実習を行っている。</p> <p><b>ハ . 防災に対する体制は整備されているか</b></p> <p>防災に対する体制は、防災指導担当者を定め防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。2019年度は災害マニュアルはあるものの危機管理マニュアルを作成していなかったが今年の4月に危機管理マニュアルを作成した。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 今年は新型コロナウイルスの影響でいろいろな研修が中止になってしまったが、入学して間もない頃に研修行うのは良い。海外での研修は学校の授業では学べない「経験」をすることができる。また社会に出ると英語が必要となってくるので、オンラインの英語研修など外国人と話す経験を積むと学生の意識向上につながるので、そういうものも取り入れてもいいと思う。教育環境については、5年周期でPC入れ替えを行っているのはとても良い。</p> <p>(2) 高校でも危機管理マニュアルをまとめているが、型どおりのものしか作れていない。フローチャートなど見やすく、分かりやすいので参考にしていきたい。</p> <p>(3) 現在のコロナ禍ではコロナから身を守るには継続して自身が何をすべきか、自主性が一人ひとりに求められる。貴校においては自分たちで理解し、実践していけるような指導をしてほしい。例えば最近の学生は傾向として自発的に行動できない学生が多い。言われないとやらない、言われたことだけやるのではなく、自分たちで考えたことを実行するシステム（例えば学生主体で委員など作ってコロナに対しての議論をし、コロナと共存するために各学年で学生同士協議する等）が必要ではないか。目標の資格を取ることも大事だが、社会性を育むといった教育も必要なのではないか。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p><b>イ . 学生募集活動は適正に行われているか</b></p> <p>本学で希望者の多いAO入試についてはアドミッションポリシーを定め、単願ではなく併願で実施している。</p>

	<p><b>ロ . 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられている</b></p> <p>募集活動において、教育成果を正確に伝えるために本学では資格取得実績・就職実績は、本人の了承を得て、合格試験名、企業名、氏名、出身校名を明示することにより志望者、保護者から信用の得られる内容となっているため、志望者や保護者の方の判断にも役立つと思われます。入学者に対するアンケートでは卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。</p> <p><b>ハ . 学納金は妥当なものとなっているか</b></p> <p>また、学納金は学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準 7 についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) LINE やツイッター、特にインスタグラムなどは若い方が多くやっている。ホームページだけでなく、そういった媒体を利用することも必要ではないか。</p> <p>(2) 貴校に入学する前にいろいろな実績を見ました。学校選びをする上で就職実績は重要な要素になる。今後も実績の明示の継続が必要であると考えます。</p> <p>(3) AO 入試は大学も行っているが、併願できるのは大きい。学生自身の意志と親の意志など複雑に絡み合ってくるので、双方がマッチしないといけない。単願では方向変換できないので、併願可能というのはとてもいい制度だと思います。</p>
<p>基準 8 財務</p>	<p><b>イ . 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</b></p> <p><b>ロ . 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</b></p> <p><b>ハ . 財務について会計監査が適正に行われているか</b></p> <p><b>ニ . 財務情報公開の体制整備はできているか</b></p> <p>財務全般についてですが、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められている。予算の編成は適切手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事 2 名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第 4 7 条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。以上の点から財務については適切に運用及び管理されている。</p>

	<p>この基準 8 についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 弊社でも情報公開は株主や他企業にアピールする上でとても重要で学校においても同様だと思うが、貴校の情報公開は事業計画など見やすくなっているのよいと思う。</p>
<p>基準 9 法令等の遵守</p>	<p><b>イ．法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか</b>  各種法令遵守に関する研修への参加や資料配布、および毎年の人権研修を実施している。法令遵守規定があり、法令遵守推進管理者をおいて法令遵守の推進を図っている。</p> <p><b>ロ．個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</b>  個人情報保護の取り扱いは個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定しており、学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる場合には、個人情報保護に関する文書の提出を義務付けている。また、各種学業成果を公表する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し本人の承諾を得ている。</p> <p><b>ロ．自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</b>  自己点検・自己評価委員会を設置し、自己点検・自己評価を行っており、今後も自己評価を実施して問題点を分析し、より良い改善をしていく。</p> <p><b>ハ．自己評価結果を公開しているか</b>  結果についてはホームページに公開している。</p> <p>この基準 9 についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 昨年指摘したファイルの暗号化ソフトや P D F のパスワード等改善されている。弊社でもコンプライアンス違反は一発アウトといわれている。先生方は個人情報保護をしっかりと守っているので、今後も油断せずに続けてほしい。</p> <p>(2) 在学中に個人情報の使用に関しての承認や卒業してからも使用許可の確認があり、わかりやすく細かく説明してくれた。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p><b>イ．学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</b>  <b>ロ．学生ボランティア活動を奨励、支援しているか</b>  <b>ハ．地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</b></p> <p>社会貢献・地域貢献全般については学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の道路清掃をしており、その清掃活動は近隣からもとても好評である。また、地域のお祭りへの参加等、その地域の状況に応じて社会貢献・地域貢献ができています。しかし、地域の方々に対する学校独自の公</p>

	<p>開講座等はないためその点はやや不適切である。</p> <p>この基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 地域に対する公開講座などは学生主体となって発信してみたらどうか。例えばコロナの情報を発信するなど、状況は日々変化している。感染したらどうしたらいいか、濃厚接触者が身近にいたらどうすればいいかなど不明確なことが多いので、一般の人に対して学生を中心とした公開講座を行うと、学生自身が社会に出たときに大きな力になる。</p> <p>(2) 高校でもボランティア活動に力を入れており、墨田区役所にアプローチする中で新しい団体からのボランティアを紹介される。ただ専門学校と比べると動員数や参加する生徒のレベルなどを痛感することも多く、高校もレベルを上げていきたい。専門学校でも継続していただきたい。</p>
--	---

〔総括的な意見〕

評価項目の評価についてはすべて妥当です。学習成果ではどの学科も学生の期待に応える実績を達成していることは高く評価できます。海外研修やインターンシップでは日頃の指導成果により学生は基本的な礼儀・マナーが身につけているのでしっかり役割を果たしています。先生方の学生一人ひとりに対し丁寧で親身な指導が資格取得や就職につながっており、学生から信頼を得ているのだと思います。学生募集における AO 入試については併願可能というのがとても素晴らしいと思います。また情報公開は個人情報を考慮し適切に行われており入学希望者の判断材料になる情報が提供されていると思います。今後も学生のニーズに応える学校運営と社会に役立つ人材育成に励んでほしい。今回の学校関係者評価は昨年以上に各学科の特徴や実績を中心とした報告があり、今まで以上に貴校の実績の高さを知ることができました。